



みなみの風7月号

【発行日】
令和6年7月19日
【発行者】 学校長

《学校教育目標》 自ら学び、心豊かに、たくましく生きる子の育成
重点目標 「生き生きわくわく」～言葉を大切に、豊かな関わり・確かなつながりをとおして～

暑い夏の日を表す言葉を、以前は「夏日」「猛暑」といっていましたが、最近は「酷暑」や「災害級」という文字を見るようになりました。それだけ、今の暑さは尋常ではなく、本校においても暑さ対策に苦心しているところです。特に、水泳学習(低学年は水遊び)については、気温が低かったり雨が降ったりすることで中止の判断をするのみならず、「暑すぎるから中止」という事態も今後は増えてくることと思います。プールを使った学びも、今後は大幅な変更も余儀なくされる時代もそう遠くはないのかもしれませんが…。

1 学期終業式を終えて夏休みに突入！

本日終業式を無事終えることができました。保護者の方々や地域の方々のご支援のもと、ここまでたどり着くことができました。

さて、今日は子どもたちに「気持ちよいあいさつができたこと」「一生懸命掃除に取り組んだこと」に対して感謝の意を伝えました。本校の子どもたちは、もちろん成長しなければならないことはまだまだありますが、この2点については本当に「**すてきさん**」であったと強く感じます。以前も取りあげましたが、特に清掃活動からは本気さが見えており、今後入学してくるであろう未来の後輩たちのために、隅々まできれいにしようという思いがひしひしと伝わってきます。

しかしながら、最後には改めてお願いもしました。それは「3つの『あ』」の一つである「あんぜん」についてです。幸いにも命にかかわるほどの大きな事故はなかったものの、授業時間外には一歩間違えば…という事案が複数ありました。また、授業時間においては、校舎内の廊下歩行の徹底が不十分で、走ってしまったために子ども同士で衝突したということも散見されました。2学期の課題とするとともに、ぜひ夏休み中には「あんぜん」と「いのち」を最優先に考え、8月29日に全員揃って2学期を迎えたいという強い思いを伝えました。

明日からいよいよ夏休みになります。これまで頑張ってきたことを今一度確認して、成長したお子さんを認めていただければ幸いです。また、長きにわたる休みだからこそ取り組めるものに挑戦する子どもたちであってほしいと願うばかりです。保護者の皆様もどうかご自愛ください。



水泳学習(水遊び)ボランティアと個別面談へご協力、ありがとうございました

本校を支えてくださる保護者や地域の方々の力は偉大です。今年も6月から7月にかけて、多くの保護者の方々が水泳学習(水遊び)ボランティアとしてご支援くださり、無事学びが終わりました。暑い中、ご協力いただき、感謝申し上げます。子どもたちも、とてもうれしそうでした！

また、お時間を取っていただいて実施した個別面談へのご参加もありがとうございました。

「子育てアラカルト③ ～言葉遣い～」

学校で過ごす時間は、子どもたちが社会に出て活躍するための準備の期間といえます。学んだことについては、単に「テストで100点とれたので、よくできました」ではなく、習得した知識や技能を「わかった」「できた」で終わらせるのではなく、「使える」「生かす」ことにつなげるよう日常生活と関連させて、継続的に指導しているところです。

学習面のみならず、生活面においても、学んだことを自分のものにすることは大切になります。例えば、社会に出て他者と関わる時、言葉遣いが時と場に応じて適切に使えるということが大きなメリットとなることは、保護者のみなさんも感じられているのではないのでしょうか。

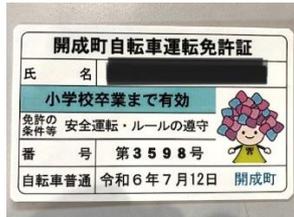
さて、現在の学校を振り返ってみますと、職員室や保健室に入るときは型があり、「失礼します。〇年の△△です。□□先生に用事があって来ました。」という指導をしており、年度当初は難しかった1年生も、今は型どおりに言えるようになってきました。それ自体は成長なのですが、他学年も含め、それ以外の場面で教職員と丁寧な言葉でやり取りができているかといえば、自信をもって「はい」とは言えません。丁寧な言葉を発することが難しい状況を「子どもらしくてよい」という考えもあります。しかし私は、いずれ丁寧な言葉を使う必要があるのですから、小学生の段階において指導しておくことはよいことと思います。丁寧な言葉をお互いが使うことで、学校の雰囲気も引き締まります。

自転車免許証交付式 ～4年生がいただきました～

7月12日(金)に、山神町長さんをはじめ、町関係課の方々が来校され、過日取り組んだ免許講習を受け、免許証交付式が執り行われました。

途中、町長さんから安全についてのお話をいただき、子どもたちへのインタビューを交え、改めて自転車の乗り方について考える機会となりました。

最後には、各学級の代表児童が免許証を受け取りました。4年生は、学校の代表として自転車の運転の見本となってほしいと願っています。



1年生の成長 ～これからも楽しみです～

写真は、1年生が学年集会に参加しているときの様子です。体育館に入場してくるときの様子から観察していましたが、整然と入場することができおり、写真のように、終始よい姿勢で取り組む様子に感動しました。

入学してから4か月がたちましたが、とてもたくましい子たちです。さらには、教室を並べる6年生からの多数のサポートもあり、すっかり学校に慣れてきたことがよくわかります。

今後の成長がより一層楽しみな1年生ですが、夏休み明けに4月のころに戻ってしまうということがよくあります。よく確認されることですが、他の学年も含め、夏休み中の規則正しい生活につきまして、ご配慮くださいますようお願いいたします。1年生、よい夏休みにしてくださいね。



校長室へようこそ ～すてきさん、いらっしゃい!～

校長室には、毎日のようにたくさんのすてきさんが訪れます。

左の写真は、2人の2年生が、すでに命を落としてしまった昆虫を登校時に発見したので、その名前と特徴を伝えに来てくれた時に撮影したものです。

右の写真は、学校園で育てた夏野菜のミニトマトを収穫した後に、報告に来てくれた時の写真です。

子どもたちは、大人とは違う感性で、様々なことに心が動きます。大人からすると、「そんなことで・・・」と思う事でも、子どもたちからすると大発見なのです。そのようなときに、一緒にその発見を喜べる大人がどれだけ周りにいるかが子どもたちの感性を豊かにすることにつながると私は考えます。



総合的な学習の時間が 本格始動

本校の総合的な学習の時間における学びの内容は、各学級単位で、担任と子どもたちで構築しています。その内容は様々で、自分たちの生活を豊かにするものであったり、町の活性化だったりしていますが、現在は、主に情報収集等のインプット型の学びが中心となっています。2学期以降は、徐々にインプット型からアウトプット型の学びへと移行し、学びから得られたことを、校内や地域、そして町全体へと伝えていくこととなります。

写真は、3年生のある学級が、あじさいを題材にして学ぶために、収集したものになります。今後の発展的な学びが今から楽しみです。



これからも忘れてはならないこと

～7月22日から28日は、ともに生きる社会かながわ推進週間です～

8年前の7月26日は、19人もの尊い命が奪われた「津久井やまゆり園事件」が起こった日です。「意思疎通が図れない人間は生きていく意味がない」という、人権意識の欠如によって引き起こされた衝撃的な事件でした。神奈川県は、このような事件を二度と繰り返してはならないという強い決意のもと、「ともに生きる社会かながわ憲章」を策定しています。

さて、今の世の中はどう変わったでしょうか。もしかすると、この事件のことも空洞化してしまい、差別や偏見が日常的に行われているということはないでしょうか？人権意識を高め、人権感覚を磨く教育は、道徳の授業を核とした学校教育(道徳教育)だけで培われるものではなく、地域教育力や家庭教育力も大きな役割を担います。大人が、同じ価値観をもって子どもたちを育てることが、改めて必要であると感じています。今こそ、大人が自らの言動によって、高い人権意識を示す時であると思います。